



里山に育む生きものたち

22 コオニユリ

(ユリ目 ユリ科)

学名 *Lilium leichtlinii* Hook.f.
f. pseudotigrinum (Carriere)
H.Hara et Kitamura

写真・文 / 安 昌美

今月も町内のきれいで目立つ野生の花を紹介します。庭などに栽培されているオニユリに似ていて、コオニユリ(小鬼百合)と呼ばれるユリです。町内では個体数も生育地も少ないと思われ

▼コオニユリとは

コオニユリはオニユリに比べて小さいところから名付けられたと思います。生育地や繁殖方法などに違いがあります。花だけの区別は容易ではありませんが、オニユリの方が少し花が

大きいようです。一般にオニユリは庭などに栽培されており、時に野生化している場所もあります。コオニユリは茨城県内では湿った草原などに生え、山間の湿地に多く、平地部の湿地ではややまれです。大きな区別点としてはオニユリでは葉の付け根(葉腋)に珠芽(ムカゴ)が付きませんが、コオニユリではつかない点です。また、コオニユリでは花が咲いてその後に種子ができ(2倍体)、種子で繁殖できますが、オニユリは多くの場合3倍体で種子ができませんので、ムカゴが増えていきます。日本のオニユリは古い時代に中国から食用として伝わったのだらうとされています。

▼絶滅危惧種の多い湿地

町内にも台地斜面の下部に狭い湿地が広がっている場所があります。国内では高度経済成長の時期に開発と称して、湿地などが埋め立てられていきました。残念なことに、そこに生育していた植物も減んでいった例があります。なかには園芸用に採取されて減んだサギソウなどの場合もありますが、現在絶滅危惧植物とされる種類に湿地の植物が多いことは確かです。町内でもカザグルマやイソノキの生える湿地は限られています。今回コオニユリの見られた湿地には他にハンゲシヨウ、ケハシノキ、ヌマトラノオ、サワヒヨドリなども見られました。町内でもコオニユリそのものばかりでなく、生育地も大切に守りたいものです。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤 1080 TEL029-292-1111 FAX029-292-6748
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成25年12月31日現在)
◆総人口 34,122人 (-18) 男 17,071人 (-3) 女 17,051人 (-15) ◆世帯 12,559戸 (+4)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インキを使用しています